

Japanese Journal of Mathematics 編集委員会より

Japanese Journal of Mathematics (JJM) は、2004-2005 年の廃刊の危機を乗り越え、2006 年に「新たな創造」を巻き起こすような研究総説論文を出版することを目指した学術誌 JJM (3rd Ser.) として生まれ変わり、今年で 10 周年を迎えます。

JJM (3rd Ser.) の発刊に連動し、2006 年秋より年に 2 回、専門分野の壁を越えた講演会「高木レクチャー」を運営し、こちらも 10 周年を迎えました。高木レクチャーのために書き下ろされた原稿は、査読後に JJM に掲載されます。

同時に JJM では広く皆さまからのご投稿をお待ちしています。投稿要領はジャーナルのホームページ <http://www.springer.jp/JJM/> をご覧ください。また、ホームページでは、最先端の数学の話題が専門分野ではない場合にも母国語で手軽に親しめるように JJM (3rd Ser.) に掲載された論文のアブストラクトを原文と和訳の両方で掲載しています。

さて、トムソン・ロイター社では、自社で集計したデータに基づいて Journal Citation Reports (以下では JCR と略号で表記) を毎年発表しています。これは個々の論文に対してではなく、ジャーナルを対象とした評価指標です。

2015 年版 JCR では国内の数学関連のジャーナルが以下のように発表されています。

ジャーナル名	インパクトファクター	発行母体
1. JJM	1.778 (312 誌中 16 位)	日本数学会
2. Publ. RIMS	0.755 (312 誌中 107 位)	京都大学数理解析研究所
3. Funkc Ekvacioj-Ser I	0.730 (312 誌中 114 位)	神戸大学
4. J Nonlinear Convex A	0.691 (312 誌中 124 位)	横浜図書
5. Kyoto J Math	0.656 (312 誌中 136 位)	京都大学
6. JMSJ	0.524 (312 誌中 198 位)	日本数学会

また、JJM と方向性を (部分的に) 共有していると考えられる海外のジャーナルに関しては以下のように発表されています。

ジャーナル名	インパクトファクター	発行国
Bull. Amer Math Soc	3.391 (312 誌中 5 位)	アメリカ
JJM	1.778 (312 誌中 16 位)	日本
Russian Math Survey	0.959 (312 誌中 65 位)	ロシア
Asterisque	0.627 (312 誌中 149 位)	フランス

インパクトファクター等の外形指標は、深淵な真理を追究しようという学問とは別世界のものであり、さまざまな弊害が指摘されています。良識ある学者としては、いかなる種類の外形指標に対しても、それに左右されることなく超然とした態度を貫くべきであるというのが、私の個人的な考え方です。

一方、海外の一部の図書館では、ジャーナルの購読を打ち切る基準の一つとして JCR によるインパクトファクターを用いることもあると聞きます。新体制になってまだ日の浅い JJM を運営する立場としては、この意味において、今回のニュースを素直に喜ばしいものと受けとめたいと思います。